

第1回検討委員会及び第1回策定委員会 でのご意見の一部



- 農業振興地域整備計画を動かせるような、説得力のある計画にしてほしい。
- 何よりも人口対策が重要。20年後に人が住めるまちを考える必要がある。
- 周辺自治体との生き残り競争の中で、企業誘致の可能性等も検討すべきである。
- 一方で、南河原地区など周辺地域についてもきめ細かな計画づくりが必要である。
- 子供たちを育てられる環境づくりの充実が必要である。

2

1 市民意見の

聴取状況について



3



①地域別懇談会の結果概要



- 各地域の現況と課題を把握するため、地域別懇談会を開催。参加者は合計90名。
- 「地域におけるまちづくりの現状と課題」をテーマにグループワークを実施。

地域	日時	場所	参加者数
西部	11/19 (土)	太井公民館	23名
中心部	11/19 (土)	市役所	32名
北部	11/20 (日)	グリーンアリーナ	15名
南東部	11/20 (日)	中央公民館	20名

西部地域のまとめ



●宝もの (良いところ、残したいところ)

- 南大通線が開通し、JR行田駅へのアクセスが向上
- JR行田駅は市の玄関口
- 総合病院や個人病院があり、住みやすい。

等

●問題もの (悪いところ、改善したいところ)

- 公園や緑、子どもが遊ぶ場が少ない。
- 駅周辺の駐車場、駐輪場が狭い。
- 人口減少を止めるために前谷地区周辺の開発を検討して欲しい。

等

課題

- ◆JR行田駅を都市拠点として位置付け、駅周辺への転入者や来訪者の増加につながる施策の充実

中心部地域のまとめ



●宝もの (良いところ、残したいところ)

- 南大通線が開通し、市内循環バス路線が充実
- 水城公園・歴史的建造物(忍城址、足袋蔵)などの景観



等

●問題もの (悪いところ、改善したいところ)

- 高齢者や子どもが安心して歩ける歩道が必要。
- 高齢者がまちなかに住めるようにしたい。
- 商店街の空き店舗が多い。
- 市内で働ける場所が少ない。



等

課題

- ◆市中心部の再生・活性化や観光資源をいかしたまちづくりの推進
- ◆歩いて暮らせるまちづくりの実現

6

北部地域のまとめ



●宝もの (良いところ、残したいところ)

- 利根川や田園風景など恵まれた自然環境
- 地域コミュニティが盛んである。
- 武州荒木駅を地域の核として活性化させていきたい。



等

●問題もの (悪いところ、改善したいところ)

- 道路整備が全体的に必要
- 市中心部や公共公益施設等へのアクセスが良くない。
- 防犯灯が少なく、暗い。



等

課題

- ◆道路・公共交通等の都市基盤の整備・充実
- ◆恵まれた自然環境と生活の利便性向上とのバランスのとれた整備

7

南東部地域のまとめ



●宝もの (良いところ、残したいところ)

- さきたま古墳公園や古代蓮の里などの地域資源。
- 田園風景など豊かな自然環境。

●問題もの (悪いところ、改善したいところ)

- 集中豪雨により冠水する地域がある。
- 地域間を結ぶ道路網が不足。
- JR行田駅・吹上駅・北鴻巣駅への公共交通手段が不十分。



等



等

課題

- ◆水害対策や公共交通の充実、道路整備の推進による安心・安全で利便性の高いまちづくり
- ◆身近な自然や歴史的資源の保全・活用

8

②こども会議の結果概要



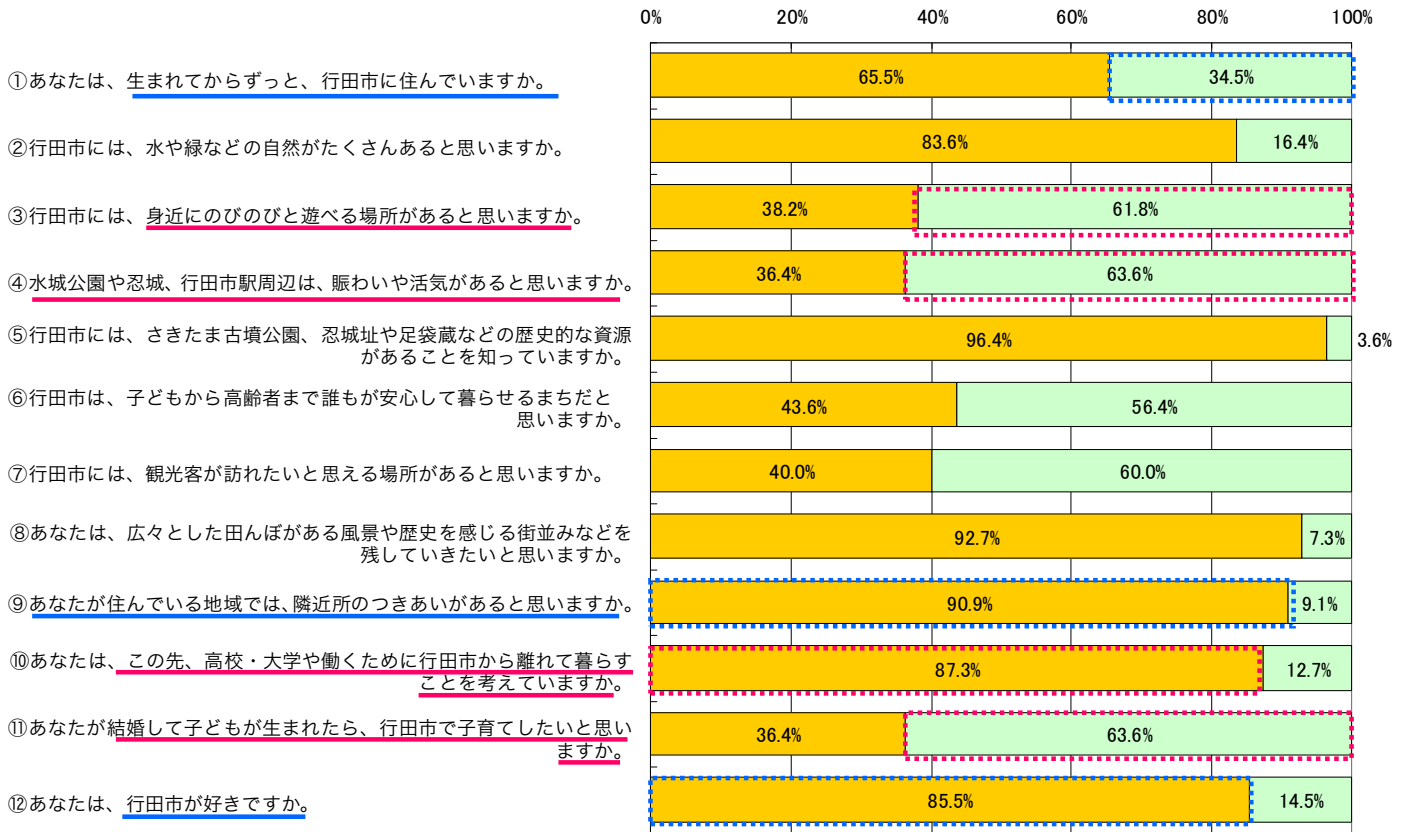
- 次代を担う中学生を対象に、市の20年後の姿を描いてもらうとともに、将来都市像等のキーワードを得るために開催。
- 参加者は合計55名。5班に分かれてグループワークを実施。

日時	場所	参加者数
12/10 (日)	中央公民館	55名

9



Yes・Noアンケート結果



グループワーク① [20年後の行田市の姿]



- 様々な年代や立場の人が20年後の行田市でどんな暮らしが出来ていると良いか意見交換

安全・安心

防犯、防災
地域とのつながり

- 地域住民の交流があるまち。
- 地域で見守りボランティアが行われているまち。
- 誰もが安心して暮らせるまち。(アンケート⑥)

便利さ

道路、電車・バス
買い物

- 買い物できる場所が身近にあるまち。
- 高齢者でも買い物がしやすいまち。
- 市内の交通がもっと便利なまち。



豊かさ

自然環境（水と緑）
公園、歴史・文化

- 自然豊かで緑が多い、川がきれいなまち。 (アンケート②)
- 環境や工口に配慮しているまち。
- 小さい子どもが安全にのびのびと遊べる公園や広場があるまち。 (アンケート③)
- 歴史を感じられるまち。 (アンケート⑧)

活気とにぎわい

働く場所、観光
まちなみ

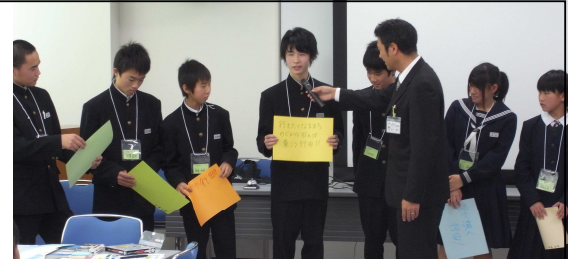
- 商店街が活性化しているまち。 (アンケート④)
- 行田市内に働く場所がたくさんあるまち。 (アンケート⑩)
- 祭りやイベントが盛んで全国的に有名なまち。

その他

- 住民が誇りを持てるまち。
- マイホーム的な雰囲気が行田市全体にあるまち。
- オンリーワンのまち。

12

グループワーク② 〔20年後の行田市の キャッチフレーズ〕



キーワード	人数	キャッチフレーズ
自然・緑	11	<ul style="list-style-type: none"> • 豊かな自然と歴史あふれる町なみin行田 • 行きたくなるまち のどかな田んぼ 築こう行田！！
笑顔、元気	8	<ul style="list-style-type: none"> • 元気と笑顔であふれる行田！！ • 歴史あふれる 魅力あふれる 笑顔あふれる行田
歴史・文化	8	<ul style="list-style-type: none"> • 城おし！蓮おし！忍の町 行田！！ • 城だ 古墳だ やっぱ行田
住みやすい	6	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が生きる 住み良いまち 行田 • 「人々が住みやすい輝くまち」 行田

13



キーワード	人数	キャッチフレーズ
安全、安心	6	・ 安心・安全 ・笑顔のまち行田 ・ 活気のあるあふれる 安心安全のまち 行田
楽しい、明るい	5	・ 明るく 希望あふれる行田 ・ いろんな世代が たのしくくらす 行田
観光	5	・ 観光宣言都市 行田！！ ・ 夢いっぱい 元気いっぱい 世界の人々が集う観光都市 ～行田は元気におもてなし！～
活気	4	・ 活気 と緑のあふれる行田！！
希望、夢	3	・ 明るく 希望あふれる 行田
市民がつくる	2	・ みんなで作った 素晴らしきまち 行田

等



③市民まちづくり会議の概要

住まいと暮らし

住環境、防災・防犯、コミュニティ

暮らしを支える

道路、公共交通、上・下水道

魅力を高める

自然環境（水と緑）、景観、歴史・文化、レクリエーション

賑わいをつくる

中心市街地と駅周辺のまちづくり、産業振興（農・工・商）、観光

- 「全体構想」に係る部分について、4つテーマ（分野）に分かれ、まちづくりの方向性について検討を重ね、市民提案書をまとめました。（計4回開催）

回	日時	内容	参加者数
第1回	11/27（日）	まちづくりの現状と課題を整理しよう	26名
第2回	12/18（日）	まちづくりの方向性を考えよう	23名
第3回	1/29（日）	まちづくり方策を考えよう	25名
第4回	2/26（日）	テーマ別まちづくりの市民案をまとめよう	26名

住まいと暮らし グループ



■まちづくりの方向性

- 防災体制の見直しや震災時などの体制を強化する。
- 良好な住環境を保全・維持するためのルールをつくる。
- 公園や街路樹の維持管理のあり方を見直す。

等

■取り組みアイデア

- 地震・水害・火災別の防災訓練の実施
- 建築協定や地区計画の整備
- 公園や街路樹のオーナー制の導入

等

16

■特に進めるべき「重点的な取り組み」

元気な高齢者の活用と市民活動の活性化

- 高齢者の活動の場の創出、参加募集方法の検討。
- ボランティア・NPO団体の連携と窓口の一本化。

環境に配慮した、災害時にも機能する防犯灯の整備

- 環境に配慮した、自然エネルギーにより発電する防犯灯の整備。(ソーラー発電、水力発電など)

“水と緑のまち”にふさわしいクリーン活動

- これまでのクリーン活動に加え、“水と緑のまち”にふさわしい、きれいな河川や水路を目指し、美化を進めていく。

17

暮らしを支えるグループ



■まちづくりの方向性

- 歩いて暮らせるみちづくりを推進する。
- バス路線の利便性を高める。
- 河川環境を保全する。

等

■取り組みアイデア

- 歩行者空間の確保(グリーン舗装、一方通行化など)
- 路線バスの新設や市民ニーズに沿ったデマンド交通の検討
- 渇水期通水による河川の浄化

等

18

■特に進めるべき「重点的な取り組み」

ユニバーサルデザインによる歩道の整備
(歩道のバリアフリー化など)

- 道路整備の視点を「車中心」から「歩行者・自転車」へ。
- 市民との合意形成を図りながら、行政が優先的整備路線を選定し、計画的に整備。

市民のニーズに沿ったデマンド交通の検討

- デマンド交通のランニングコスト・費用対効果の検証。
- 市民利用+観光客向けの行田市オリジナルのデマンド交通。

19

魅力を高める グループ



■まちづくりの方向性

- 自然や歴史などの地域資源の保全手法を検討する。
- 既存の情報発信手法を見直し、改善する。
- 市民一人ひとりが、行田市の宣伝をできるようにする。

等

■取り組みアイデア

- ボランティアによる地域資源の維持管理の仕組みづくり
- 観光情報の一元化とホームページのわかりやすさの向上、リンクの充実
- 市民がまちについて学ぶ機会の充実

等

20

■特に進めるべき「重点的な取り組み」

「水がきれいなまち行田」の実現

- 行田市は「水」がキーワード
- 潤いと癒しをもたらす「水」
- 「水」がきれいになることは、市民の永年の

夢

渇水期通水による水質浄化

○手段1: 武蔵水路や酒巻導水路の水を流す。

○手段2: 井戸を掘り、地下水を活用する。

○手段3: 雨水を活用する

21

賑わいをつくる グループ



■まちづくりの方向性

- 商店街の再編・集約を図る。
- 観光客の目線から観光施策を見直す。
- 人口流出に歯止めをかけるための施策を充実する。

等

■取り組みアイデア

- 商店街の差別化、経営意欲のある店舗の集約化
- 新たな行田ブランドの創出、地産地消による飲食店展開
- 幼稚園や小・中学校、高校等の教育環境の充実

等

22

■特に進めるべき「重点的な取り組み」

観光を取巻く体制の見直し・一元化

- 民間主体のシンクタンクの結成、観光客目線での取り組みを一元化。
- 観光に限らず、一元化された連携体制をあらゆる分野で発展させる。

商業や産業・あらゆる分野での「特区」の創設

- 行政主導のもと特区制度を導入（助成制度や法人税等の減免措置）
- 教育や子育て分野等でも特区を定め、長期的視野で人を呼び込む。

市の名称を「忍城市」へ改名する

- 駅名は、秩父鉄道「忍城市駅」、JR「忍城駅」へ。
- 改名により知名度が上がり、大きな経済効果が期待できる。

23

市民参加について



■まちづくりの方向性

- 市民参加のPR。
- 計画の進行管理を行う。
- 市民の声を聞く体制づくりを進める

等

■取り組みアイデア

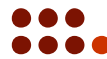
- 広報誌等を活用し、幅広い世代へ市民参加の意識向上
- 計画の進行管理体制の整備
・進行管理に関する情報公開
- 市民まちづくり会議を継続する

等

24

■市民会議で出された意見

- 市民参加を促すために、さまざまなメディアを活用し、幅広い世代に意見聴取を行う必要がある。
- 都市計画マスタープランが「絵に描いた餅」にならないよう、進行管理が必要不可欠。
- 提案内容が計画に反映され、実施段階でも市民まちづくり会議が関わっていくことができる仕組みを望む。



住まいと暮らし グループ



暮らしを支える グループ



魅力を高める グループ



賑わいをつくる グループ

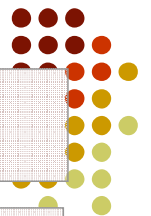


25



2 行田市の将来都市像と 都市づくりの基本目標について

都市づくりの体系図



まちづくりの
基本理念

「ひとの元気・地域の元気・まちの元気」

将来都市像

水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ

基本的な方向

(都市づくりのキーワード)

暮らしの充実

にぎわいの創出

水と緑と歴史の継承

都市づくりの基本目標

笑顔で暮らす、
住みよいまち

笑顔あふれ、
にぎわいを生むまち

行田らしさが
光るまち

- 1 都市拠点の活性化と周辺地域の生活環境の調和がとれたまち
- 2 良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち
- 3 子どもからお年寄りまで快適で安心・安全に暮らせるまち

- 4 産業・観光により雇用の場が確保され、生き活きと働き暮らせるまち
- 5 市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち
- 6 地域産業が活発な活力のあるまち

- 7 美しい水と緑、田園風景が広がる、環境に配慮したまち
- 8 歴史的な街並みや調和のある都市景観が形成され、歴史が息づくまち
- 9 市民と行政、民間等が相互に連携した、市民が主役のまち



1) まちづくりの基本理念

「ひとの元気・地域の元気・まちの元気」

(第5次行田市総合振興計画)

- 快適で住みよいまち
- 健康で幸せなまち
- 個性を伸ばす教育と文化を育てるまち
- 産業振興で豊かなまち
- 心ふれあうまち

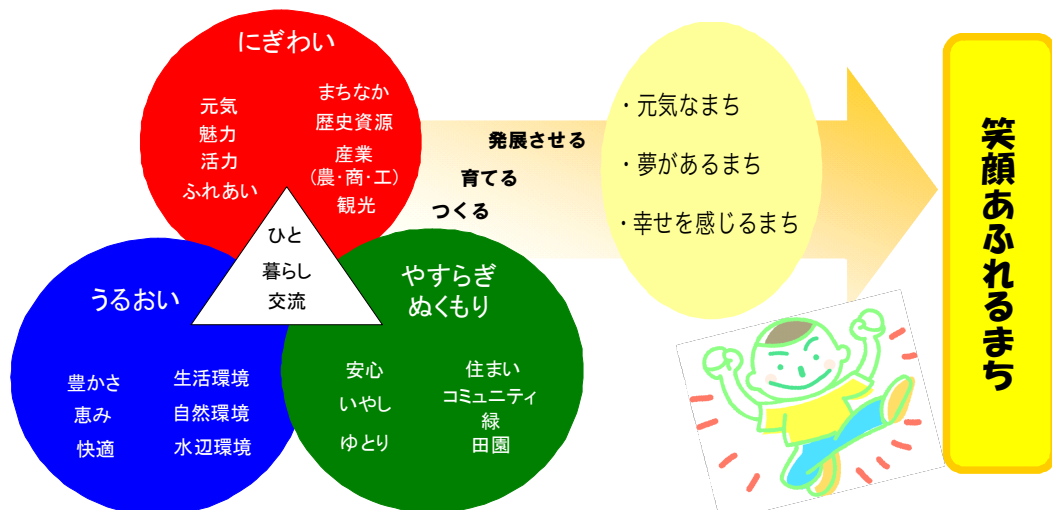
(都市計画区域の整備・開発及び保全の方針)

2) 将来都市像



水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ

- 笑顔あふれるまち = 住む人も訪れる人も幸せを感じるまち
- 「住みよく」「暮らしやすい」まちで、誰もが生き生きと楽しく暮らしていること = 最大のおもてなし環境
- 「にぎわいの赤」、「うるおいの青」、「やすらぎ、ぬくもりの緑」を組み合わせた 行田オンリーワンのまち



作業部会や検討委員会 における検討事項等

- 作業部会等での意見
⇒ 事務局の見解

● キャッチフレーズだけでは行田市のイメージが湧いてこない。

⇒水と緑と歴史は行田市を象徴するキーワードである。

⇒計画策定の中で、独自性のある施策を検討する。

⇒重点プロジェクトの設定等により行田らしさを打ち出す。

30

【目標年次】 平成44年度（平成25年度から20年間）

【将来人口フレーム】 定住人口 70,000人

（まちづくり人口 83,000人）

＜現状と問題点＞

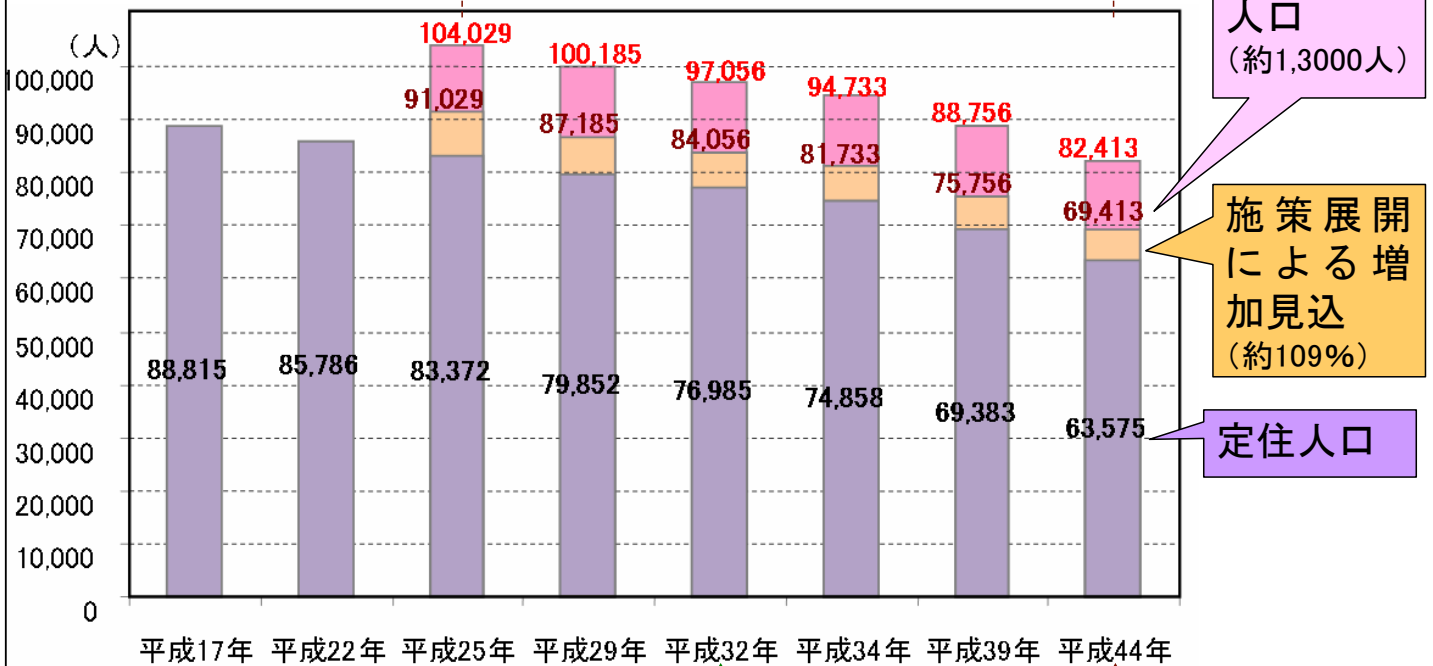
- 人口の減少傾向が著しく、高齢化も進行。
- 観光客数は増加傾向。しかし豊富な観光資源が活用されていない。
- 居住環境・交通利便性に対し市民の満足度が低い。
- 子育て世代では通勤や子育て環境の満足度が低い。

31

(参考) 将来人口フレームの設定



計画期間: 平成25年度から20年間



まちづくり人口
(約1,3000人)

施策展開による増加見込
(約109%)

定住人口

(第5次総合振興計画の目標年次) (都市計画マスタープランの目標年次)
平成22年度国勢調査結果を基に、都市計画マスタープランの目標年次である平成44年度までの定住人口をコーホート変化率法により推計

作業部会や検討委員会 における検討事項等



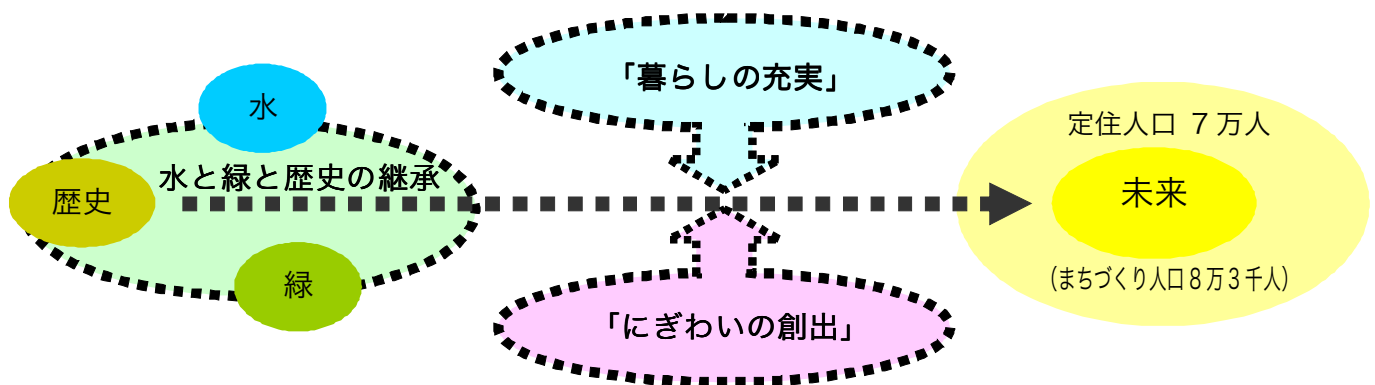
- 目指す人口規模によって、土地利用の転換や基盤整備の規模など、やるべき施策が変わってくる。

⇒ 目標とする人口フレームの実現に必要な取組みの重み付けや、施策展開について整理する。

3) 都市づくりの基本方向



- 少子高齢化・人口減少など厳しい社会情勢のなか、定住人口7万人(まちづくり人口8万3千人)の実現に向けて、「暮らしの充実」と「にぎわいの創出」を都市づくりの新たなキーワードとしてまちづくりを展開する



34

作業部会や検討委員会 における検討事項 等



- **単なるベッドタウンではなく自立した都市を目指すべきである。**

⇒基本目標の設定あたっては、行田市が目指す方向性を見定め、整理をする。

35

4) 都市づくりの基本目標



基本目標1

笑顔で暮らす、住みよいまち

-暮らしの充実-

- 1 都市拠点の活性化と周辺地域の生活環境の調和がとれたまち
- 2 良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち
- 3 子どもからお年寄りまで快適で安心・安全に暮らせるまち

36

作業部会や検討委員会 における検討事項 等



- 都市軸としてJR吹上駅等との関係も整理する必要がある。
- ポテンシャルの高い前谷地区の土地利用を検討する必要がある。

37



笑顔あふれ、にぎわいを生むまち

-にぎわいの創出-

- 4 産業・観光により雇用の場が確保され、生き活きと働き暮らせるまち
- 5 市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち
- 6 地域産業が活発な活力のあるまち

38

作業部会や検討委員会 における検討事項 等



- にぎわいを創出するためには、まず雇用が大事。郊外への拡大より、既存の工業団地の充実を優先すべきである。
- 人口減少が進行する中で、市街化拡大路線ではなく、必要最小限の転換、機能的な整理をする必要がある。

39



行田らしさが光るまち

-水と緑と歴史の継承-

- 7 美しい水と緑、田園風景が広がる、環境に配慮したまち
- 8 歴史的な街並みや調和のある都市景観が形成され、歴史が息づくまち
- 9 市民と行政、民間等が相互に連携した、市民が主役のまち

40

作業部会や検討委員会 における検討事項 等



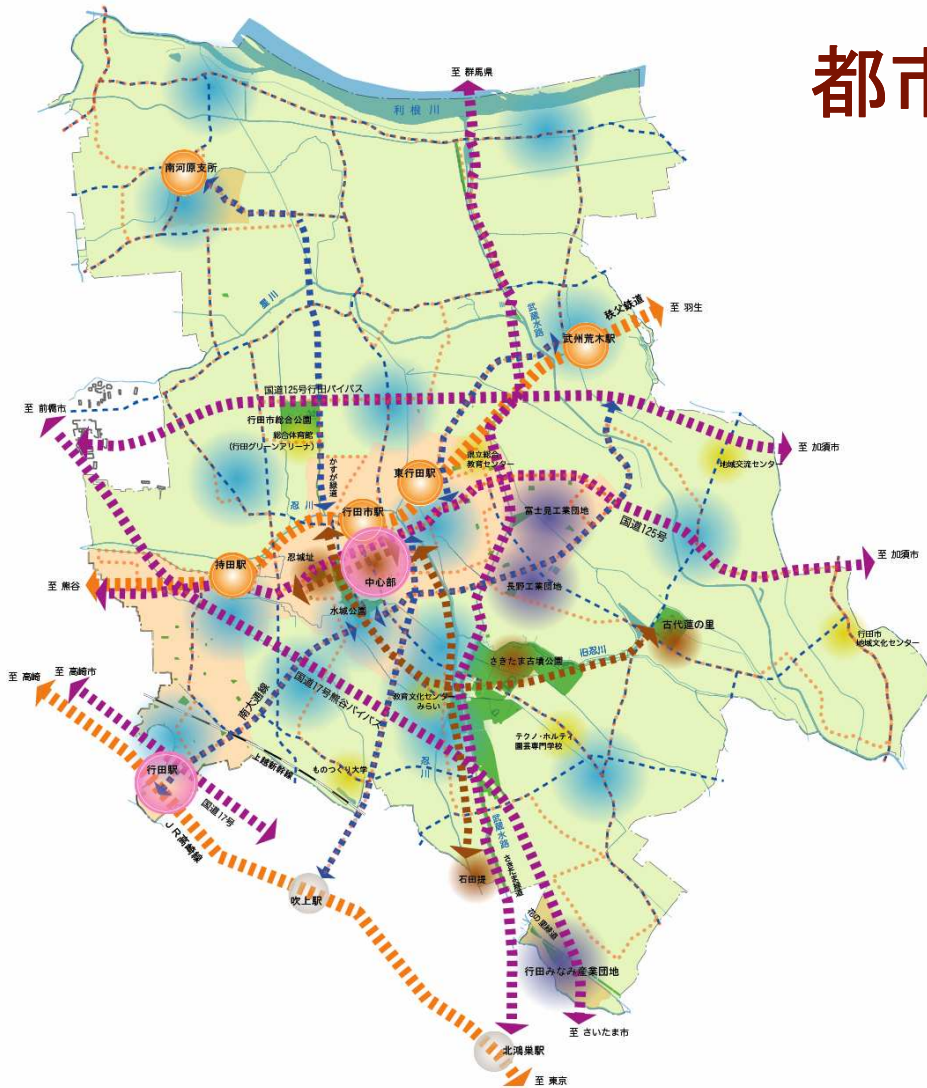
● 『コンパクトシティ』の位置付けが必要ではないか。

⇒ 『コンパクトシティ』とは都市的土地利用の郊外への拡大を抑制し市街地の効率化を図る都市づくりの概念である。

計画策定においては、市街化調整区域の土地利用の見直しや郊外部の暮らしの充実化を目標に掲げていることから、表現を控えている。なお、都市機能が集積した都市構造の実現は重要なものと認識しており、施策に展開していく。

41

都市構造図



拠点

- 都市拠点
- 活動拠点

エリア

- 暮らしのエリア
(地域公民館周辺等)
- 工業団地エリア
- 交流・情報発信エリア
- 歴史・文化エリア

軸

- 広域連携軸 (道路)
- 広域連携軸 (鉄道)
- 都市軸
- 生活軸
- 歴史・文化軸

その他

- 公共交通ネットワーク
- 公園・緑道等
- 河川等
- 市街地
- 周辺地域

3 目標に実現に向けた 主要な課題の設定について



都市づくりの基本目標

笑顔で暮らす、
住みよいまち

- 1 都市拠点の活性化と周辺地域の生活環境の調和がとれたまち
- 2 良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち
- 3 子どもからお年寄りまで快適で安心・安全に暮らせるまち

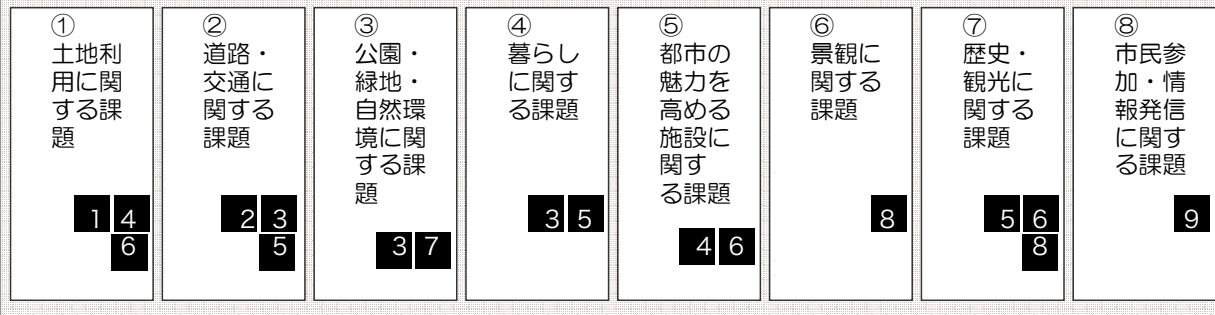
笑顔あふれ、
にぎわいを生むまち

- 4 産業・観光により雇用の場が確保され、活き活きと働き暮らせるまち
- 5 市民と来訪者の交流がにぎわいを生み、快適に過ごせるまち
- 6 地域産業が活発な活力のあるまち

行田らしさが
光るまち

- 7 美しい水と緑、田園風景が広がる、環境に配慮したまち
- 8 歴史的な街並みや調和のある都市景観が形成され、歴史が息づくまち
- 9 市民と行政、民間等が相互に連携した、市民が主役のまち

実現に向けた主要な課題



44

① 土地利用に関する課題

■ 将来人口フレームにふさわしい土地利用の実現に向けた、都市機能の再生・集約・転換

- ▶ 市街地の再生と都市機能の集約(中心部・JR行田駅周辺等)
- ▶ 市街化調整区域の土地利用の転換
(前谷地区の土地利用の見直し、国県道等沿道の土地利用の見直し)
- ▶ 住宅地への規制誘導(地区計画・高度地区・建築協定等)の導入による住環境の維持保全・向上
- ▶ 産業を活性化する土地利用の見直し(農・工・商) (基本目標)
- ▶ 周辺地域の適切な開発の誘導 ⇒ **1 4 6**

45



② 道路・交通に関する課題

■ 道路と公共交通（鉄道・バス）の利便性の向上

- ▶生活道路ネットワークの充実
- ▶公共交通（鉄道・バス）ネットワークの充実
- ▶駅前駐輪場・駐車場の充実

⇒ **2**

■ 歩行者・自転車利用者に快適なみちづくり

- ▶安全で快適に歩いて暮らせるみちづくり
- ▶自転車利用を促進する道路環境の整備

⇒ **3**

■ 広域圏における都市間アクセスの強化

- ▶広域幹線道路の整備促進

⇒ **5**

46



③ 公園・緑地・ 自然環境に関する課題

■ 公園整備による住環境の向上

- ▶身近な公園・広場等の計画的な整備
- ▶公園・広場等の維持管理の充実

⇒ **3**

■ 水と緑のまちにふさわしい自然環境の維持保全

- ▶河川や水路、緑道、自然公園等の整備と維持管理
- ▶河川環境の美化と美しい水辺空間の創出

⇒ **7**

■ 低炭素都市の創出

- ▶環境に配慮した都市施設の整備
- ▶市街地や公共施設等における緑化の推進
- ▶行田エコタウンの創出

⇒ **7**

（道路照明灯などのLED化、レンタサイクルの推進等）

47



④ 暮らしに関する課題

■ 市民の日常を支える生活環境の充実

- ▶ 高齢者・要援護者の生活環境の向上
(身近な商業施設や医療福祉施設等の計画的な配置) ⇒ **3**
- ▶ 地域交流施設の充実(公民館や小・中学校の再編等) ⇒ **5**
- ▶ 子育て世代の生活環境の向上 (交通利便性の向上)(歩いて暮らせる道路環境の整備)

■ 安心・安全に暮らせる防災・防犯対策の充実

- ▶ 風水害対策の充実と老朽住宅等の耐震化 ⇒ **3**
- ▶ 通勤・通学路等の安全性の向上(歩行者空間の確保、道路照明灯の整備等)

■ 市民の暮らしを支える供給処理施設の充実

- ▶ 上下水道の整備・更新・耐震化 ⇒ **3**
- ▶ ごみ処理施設の計画的な運営・維持更新

48



⑤ 都市の魅力を高める 施設に関する課題

■ 中心部における魅力ある都市拠点の再生

- ▶ 歴史あるまちにふさわしい商店街の再編・再生
(魅力ある商店の集約、空き店舗の活用等) ⇒ **4 6**

■ 駅周辺における生活支援・交流機能の充実

- ▶ 駅周辺における都市機能の集約・充実
(子育て支援施設や高齢者支援施設等の充実、周辺住宅地の有効利用)
⇒ **4 6**

49



作業部会や検討委員会 における検討事項等

● 都市拠点の役割・機能の整理が必要。

(例) ○JR行田駅: 通勤通学のための玄関(日常)

○行田市駅: 中心部に来る人の玄関(非日常、観光)

⇔ 都市拠点と交通アクセス(JR吹上駅を含む)を整理する。

⇒ 今後、土地利用構想を作成する上で、
都市拠点、都市軸、ゾーニングの整理をする。

50



⑥ 景観に関する課題

■ 水と緑と歴史のまちにふさわしい景観の創出

▶ 歴史的景観資源を活用した街並み景観の創出

▶ 水と緑の自然・田園景観の維持・保全

⇒ 8

(景観ガイドライン、景観に配慮した公共施設整備)

■ 良好な市街地景観の形成

▶ 市街地における良好な都市景観の形成

(景観条例、地区計画等の規制誘導)

⇒ 8

51



⑦ 歴史・観光に関する課題

■ 歴史資源を活用した地域産業の創出

▶ 忍城址・足袋蔵など歴史・文化資源を活用した地域産業の創出 ⇒ **6 8**

■ 観光資源ネットワークの構築

▶ 忍城址とさきたま古墳公園・や古代蓮の里等の観光資源のネットワーク強化（道路網・公共交通網・自転車道・歩道） ⇒ **5 8**

■ 都市計画と観光施策・事業との連携

▶ 観光案内所や道路案内板等の充実 ⇒ **5**

52



⑧ 市民参加・情報発信に関する課題

■ 市民参加の機会の創出

▶ 市民参加のバリアフリー化（環境・情報手段） ⇒ **9**
▶ 継続的な推進体制の構築

■ 市民団体や高次教育施設、民間事業者等との連携

▶ 市と高次教育施設、市民団体等が連携したまちづくり計画の構築
▶ 拠点整備における民間事業者との連携 ⇒ **9**
▶ 公共施設のアドプト制度による維持管理

■ 情報発信体制の強化

▶ 広報広聴活動の充実 ⇒ **9**
▶ 観光等の情報の一元化

53



更に市民提案書を受けて
課題の充実化を図ります。